

(別冊) あんぱちっ子すくすくプラン実施計画 (令和7年度～11年度)

新たな子育て支援の構築 ～あんぱちっ子すくすく事業(仮称)～

こども家庭課

新たな子育て支援事業(今後検討していくもの)

1. こども誰でも通園制度の創設 ー子育て支援サービスの充実
2. らくらく通園事業
3. 民間企業との子育て・防災協定へ
4. 子育て関連施設の環境改善

1. こども誰でも通園制度の創設

子ども未来戦略に基づき、新たに創設される制度。

実施開始年度 令和8年度(予定)

実施内容 勤労要件を問わず、月一定時間内で柔軟に利用ができます。

	一時保育	こども誰でも通園
対象	週3回程度の就労や、保護者等の疾病などで一時的に家庭での保育が困難になった幼児	0歳～2歳の未就園児
利用方法	希望こども園にて一時保育利用申請書を提出	定期利用・自由利用などを想定
利用時間	平日 午前8時～午後4時	月一定時間までの利用枠の中で時間単位で柔軟に利用

2. らくらく通園事業

①こども園で使用する紙おむつの無償化…令和7年度から
こども園で使用する紙おむつを園に常備し、無償で提供。

②一年中保育(仮称)(2号・3号認定者)…令和6年度3月から
今までの長期休園期間をなくし通常保育とします。(給食提供あり)

※休園日

- ・年末年始(12月31日～1月2日)
- ・お盆期間(8月13日～15日)
- ・年度末日(令和6年度は3月31日)

※お盆期間(8月13日～15日)・12月29日・30日・年度末日は希望保育

③さらなる保護者負担の軽減…令和7年度から

- ①3歳以上児の給食費減免の拡大
- ②未満児保育料減免の拡大

④お昼寝布団の簡素化

こども園に敷きマットを常備(上掛けとシーツのみ持参)

※敷マットは災害時に使用可能

3. 民間企業との子育て・防災協定へ

赤ちゃんミルクのローリングストック

《ローリング方法》

☆0歳児紙おむつ等お届け事業対象者のうち希望者へ無償配布

☆町内こども園で使用

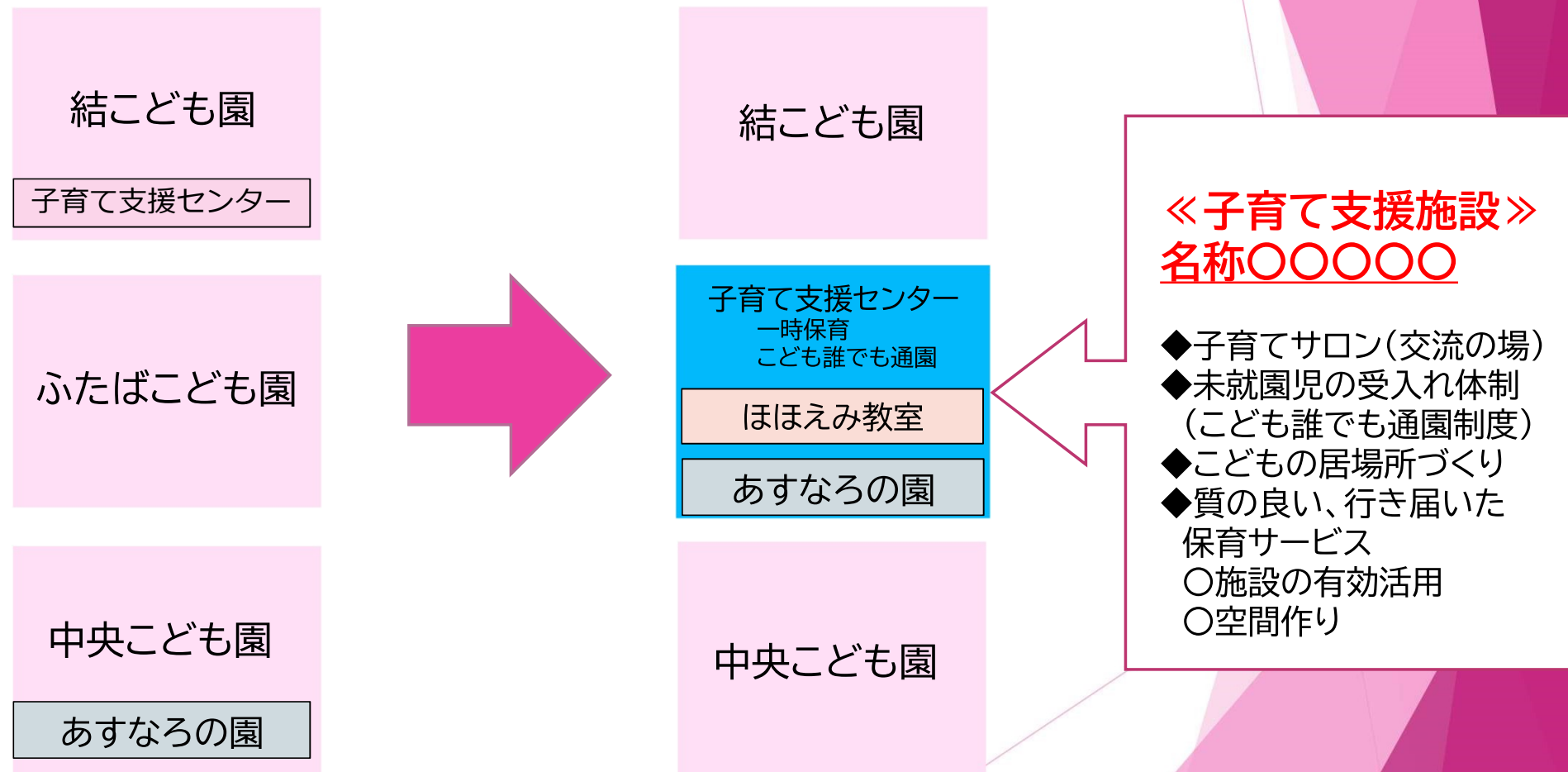
配布用のミルク2か月分を常にストックし、配った分を補充

各種子育てイベントへの協力

各種企業の協力を得た子育てイベント等の開催

4. 子育て関連施設の環境改善

5 - 1 施設配置の見直し（案）

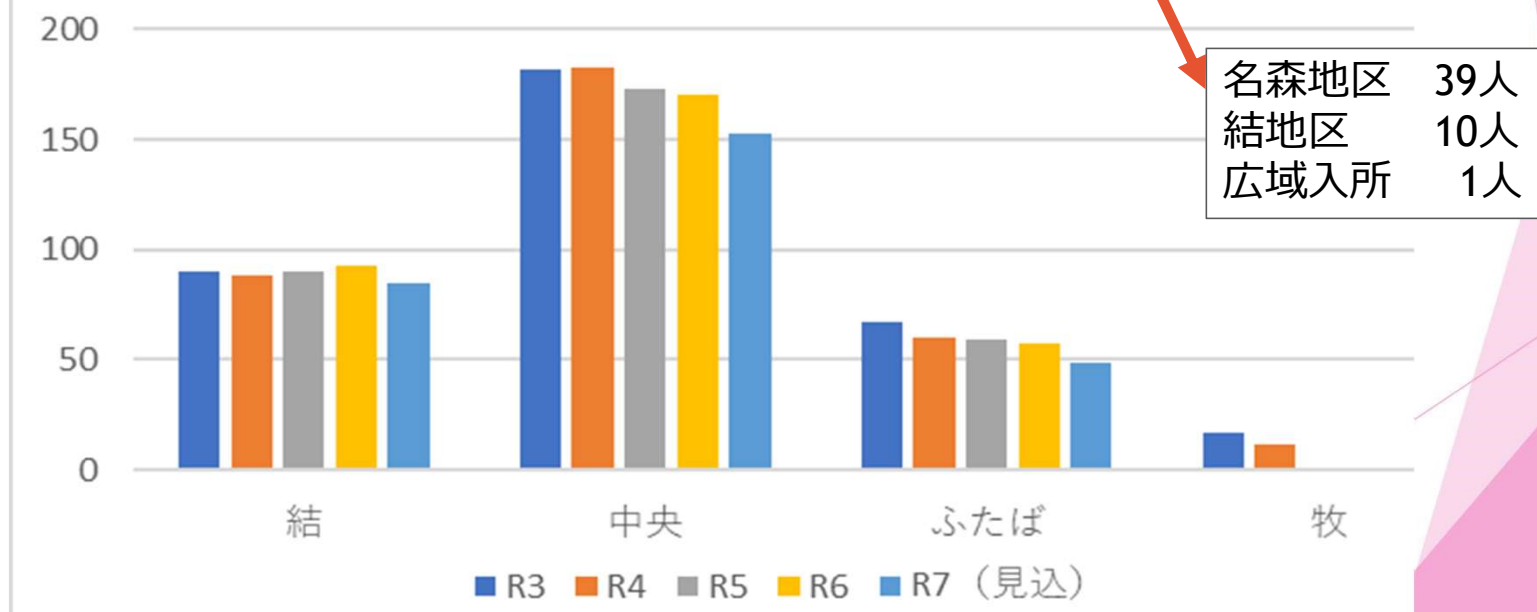


園児数の動向

(単位：人)

4-1 施設配置の見直し

	R3 (年度末)	R4 (年度末)	R5 (年度末)	R6 (12月末)	R7 (見込)	定員
結	96	93	101	96	85	167
中央	197	196	196	181	152	192
ふたば	76	70	69	63	50	91
牧	17	12	—	—	—	40
合計	356	345	322	320	287	490



ふたばこども園の現状（令和6年度）

（単位：人）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
名森地区	4	7	9	9	9	14	52
結地区	1	2	2	5	0	0	10
合 計	6 (内広域入所1)	9	11	14	9	14	63 (内広域入所1)

統合後の園児数（令和8年度見込み）

	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
結	定員	12	20	24	40	41	41	178
	入園者数	12	15	15	20	28	28	118
	定員充足率	1.0	0.8	0.6	0.5	0.7	0.7	0.7
中央	定員	18	30	44	44	44	44	224
	入園者数	18	30	40	42	44	46	220
	定員充足率	1.0	1.0	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0
合計	定員	30	50	68	84	85	85	402
	入園者数	30	45	55	62	72	74	338
	定員充足率	1.0	0.9	0.8	0.7	0.8	0.9	0.8

4 - 1 施設配置の見直し

あすなろの園・子育て支援センター・ほほえみ教室配置図（案）



4 - 2 こども園施設整備計画

施設名等	事業(改修工事等)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年
子ども・子育て計画策策定期間							
結こども園 (H10年建築)	園庭整備(遊具更新)						
	防犯カメラ更新						
	日よけ設置						
	照明LED化						
	大規模改修						
中央こども園 (H14年建築)	園庭整備(土留め等)						
	未満児室空調機更新						
	日よけ設置						
	照明LED化						
	大規模改修						
ふたばこども園 (昭和56年建築)							
	施設整備(施設・園庭)						

4－3 放課後児童クラブ

1 支援員の確保・保育の質向上 ➡ 業者委託も見据え検討

2 名森教室の在り方再検討

現状：学校の空き教室を利用しているが、最近の子どもの状態や、
今後支援学級の増加で空き教室が不足することが課題



結教室（結の郷）のように新たな場所（施設）を検討